

平成21年度実績事務事業評価シート (Aシート)

作成日：平成22年6月1日

整理番号	01-030201008-01		事業種別	一 般		事業態様	継続	
事務事業名	家庭児童相談室運営事業			区分	コード	名 称		
総合計画体系	前期基本計画	区分	コード	名称	会計	1	一般	
		基本目標	3	共に支えあうやさしいまちづくり	款	3	民生費	
		施策	1	子育て支援の充実	項	2	児童福祉費	
		基本事業	1	子育てしやすい環境の整備	目	1	児童福祉総務費	
					細目	2	家庭児童相談事業	
細々目	1	家庭児童相談室運営事業		事務事業の根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	児童福祉法第10条・本宮市家庭児童相談員設置規則		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	(年度 ~ 年度)				
事業概要 (事業のあらまし)	家庭児童相談室は、児童福祉法に基づく18歳までの児童を対象に「本宮市家庭児童相談員設置規則」により、家庭児童相談員（非常勤職員）1名を配置し運営している。近年、相談件数の急増等により緊急かつ専門的な対応が求められる一方で、育児不安等の複雑な家庭事情を背景とする多種多様な問題に対し、関係機関と連携した事業運営を行っている。							
計画等での位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 前期基本計画主要事業	担当部課等		生活福祉部		子ども福祉課		
	<input type="checkbox"/> 自主的財政健全化計画 基本計画・構想・新規事業	担当係		児童福祉係		記入者	鈴木 雅文	
	<input checked="" type="checkbox"/> 平成21年度重点事業	一次評価者（課長等名）		武田 与司弘				

1 行動方針 (PLAN)

事業目的	対象（誰を、何を）	不安や悩みを抱える児童・生徒とその家庭及び子育てをしているすべての市民					
	意図→目指す成果 (対象をどのような状態にしたいのか)	子育ての不安や困難等、児童に関する様々な相談や支援を通じて児童の福祉向上を図る。 関係機関が役割分担して、支えあって援助活動を進めていく。	⇒	区分	指標名	単位	
手段 (事業の具体的な内容、手順等)	家庭における適正な児童養育、その他児童の福祉向上を図るための相談、指導及び援助を推進する。 必要に応じ関係機関連携の下、ケース検討会議を開催し、児童虐待を始め要保護児童の早期発見・対応に努め、適正な保護を図る。	⇒	区分	指標名		単位	
				活動指標	児童相談件数	件	
				児童虐待終結件数	件		
				児童虐待終結件数	件		

2 実施 (DO)

○事業費と財源の推移

区分	年度	平成20年度（決算）		平成21年度（決算）		平成22年度（決算）	
		経費	金額	経費	金額	経費	金額
直接事業費	報酬		1,559	報酬	1,559		
	共済費		179	共済費	183		
	需用費（消耗品費）		7	需用費	8		
	負担金		5	負担金・補助金及び交付金	6		
	①事業費計		1,750	①事業費計	1,756	①事業費計	
人件費	②人数（年）		0.10	②人数（年）	0.10	②人数（年）	
	③平均人件費		8,608	③平均人件費	8,375	③平均人件費	
	④=②×③		861	④=②×③	838	④=②×③	
	総事業費 ①+④		2,611		2,594		
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			
	県支出金			県支出金			
	使用料及び手数料			使用料及び手数料			
	地方債			地方債			
	その他			その他			
一般財源		2,611	一般財源	2,594			

○事務事業の実績

区分	指標名	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成25年度
			(実績)	(実績)		(目標年度)
活動指標	児童相談件数	件	578	820	目標値に適さない	目標値に適さない
	児童虐待件数	件	8	6	目標値に適さない	目標値に適さない

○事務事業の成果

	指標名	単位	平成20年度 (実績)	平成21年度 (実績)	平成22年度	平成25年度 (目標年度)
成果指標	児童相談最終結件数	件	10	6	目標値に適さない	目標値に適さない
	児童虐待最終結件数	件	2	3	目標値に適さない	目標値に適さない

3 評価 (CHECK)

【1次評価】

項目	区分	選択理由の説明	項目評価
目的 妥当性	1 意図が政策・施策体系と結びついているか？ <input type="checkbox"/> 結びつかない <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	→ 関係機関と連携して相談・支援体制を充実し、子育てしやすい環境づくりに努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> やや不適切 <input type="checkbox"/> 不適切
	2 市が行うべき（関与すべき）事業か？ <input checked="" type="checkbox"/> 行う必要がある <input type="checkbox"/> 行う必要がない	→ 支援保護体制に対し、迅速な対応が求められることから、連携体制のとれる市が実施すべき。	<input type="checkbox"/> 不適切
有効性	1 目的を達成するための手段（実施方法）は有効か？ <input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> やや有効でない <input type="checkbox"/> 有効でない	→ 相談内容の複雑化・多様化さらに件数の増大が認められ、高い専門性が必要。業務を遂行できる専門の児童相談員を配置する事は目的達成のため有効。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> やや不適切 <input type="checkbox"/> 不適切
	2 成果指標の目標値の達成状況は？ <input checked="" type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> やや順調でない <input type="checkbox"/> 順調でない	→ 相談の必要のない社会が最終成果となるが、現状は増加していることからさらなる相談員の増員が必要。虐待件数が0となることが理想であるため目標値は設定しない	
効率性	1 投入した事業費又は人員に見合った効果は得られているか？ <input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> やや得られていない <input type="checkbox"/> 得られていない	→ 少ない人員体制の中、関係機関と連絡・連携を行うことにより、事業費以上の成果を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> やや不適切 <input type="checkbox"/> 不適切
	2 効率的な方法で実施されているか？ <input checked="" type="checkbox"/> 実施されている <input type="checkbox"/> やや実施されていない <input type="checkbox"/> 実施されていない	→ 関係機関と連携する事により、事務分担を効率的に行っている。	
公平性	1 受益者の負担が適正かつ特定の個人や団体に偏っていないか？ <input type="checkbox"/> 馴染まない <input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> やや適正でない <input type="checkbox"/> 適正でない	→ 市が通告受理機関となることから、あらゆる子どもと家庭に対する相談支援機関となるため、公平性の偏りは無い。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> やや不適切 <input type="checkbox"/> 不適切

【2次評価】

全体評価	意見
<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> やや不適切 <input type="checkbox"/> 不適切	

4 評価による行動 (ACTION)

	【1次評価】		【2次評価】	
	今後の方向性	方向性に対する取り組み (課題と解決方法等)	今後の方向性	方向性に対する取り組み (方針の指示)
20年度	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の見直し <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了	相談業務等が増加傾向にあり、さらに相談内容が複雑多様化している。相談業務に対する児童福祉士等の専門職の増員が必要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の見直し <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了	相談員の人数増だけでなく、他施設・他機関との連携システム強化や深刻なケースへの対応拡大等も含めて検討する。
21年度	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の見直し <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了	相談業務等が増加傾向にあり、さらに相談内容が複雑多様化している。相談業務に対する児童福祉士等の専門職の増員及び相談員のより高度な能力が必要である。 相談業務環境の適正化及び及びスペースの確保が必要である。	<input type="checkbox"/> 拡大・重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の見直し <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了	
22年度	<input type="checkbox"/> 拡大・重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の見直し <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了		<input type="checkbox"/> 拡大・重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の見直し <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了	